

背景・趣旨

- 神奈川県介護人材確保対策推進会議（以下：「推進会議」という）は、介護事業に直接かかわる機関・団体のみならず教育・医療・労働等の関係領域まで含め、神奈川における福祉・介護人材の確保・育成・定着のあり方を、さらにはこれからの福祉・介護サービスの目指す形を協議し、その結果をふまえて対応策を進め、広く地域社会にまで発信していくことを目的としている。
- 国が設置した「地域医療介護総合確保基金」を活用した、神奈川県が進める福祉・介護人材養成・確保に関する施策のうち、基盤整備に関わる事業として計画されている。
- 神奈川県社会福祉協議会（以下：「県社協」という）では、平成 29 年度より神奈川県から本事業を受託し、現行の県社協活動推進計画（令和 6 年度～10 年度）における「推進の柱Ⅲ：福祉人材の確保・育成・定着の推進」に位置づけるとともに、重点課題「福祉サービスを支える人材の確保・定着」における対応事業に設定し、事業間連携のもとで解決に向けた活動を推進しているところである。

推進会議体系図～推進会議の運営体制

推進会議は 3 か年を 1 期として、令和 7 年度は第 3 期の最終年となり、部会・ワーキングによる検討・提案、各種調査の実施、行政施策や実践活動をポータルサイトやフォーラムで発信する。（下：図 2）

部会・ワーキングの設置と連携した事業展開

1. 介護福祉の関係機関・団体と教育・労働など、多領域にかかわる者が構成員となり協議・提案する場：図 1
2. 多領域にわたる構成員が、テーマ毎に役割分担する「部会」を設置し、実態把握調査（研究）・検討（情報収集や分析）・発信（提案）を行う：図 2
3. 課題に対応したワーキングを設置し、小規模な検討と実践の発信を行う
4. 各種調査（人材確保・育成・定着に関する施策・制度の現状把握等）の実施
5. 市町村・県行政、市町村社協、法人・事業所、職能団体等と連携した「介護・福祉のポータルサイト」や「推進フォーラム」等による情報の発信：図 3

図 1 提案

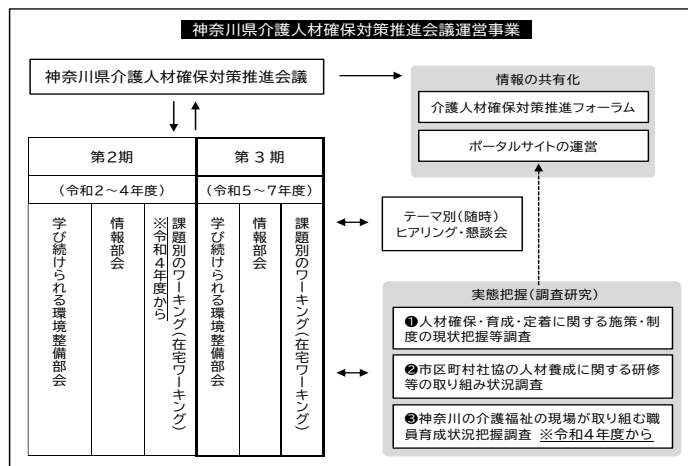
「神奈川の介護福祉が目指す姿」5 つの視点

- 1 プラスの価値
- 2 介護福祉の文化の発信
- 3 専門性の深化
- 4 人材の多様性から生まれる奥行き
- 5 きっかけの気持ちを大切にする神奈川

図 3 ポータルサイト



<https://www.kaigoportal.jp/>



神奈川県介護人材確保対策推進会議
かながわの介護・福祉
介護福祉・社会福祉のポータルサイト

トップ



市町村制度・施策



人材定着育成



ワーキング

